

<p>事例 教育力の強化</p> <p style="text-align: center;">学生募集と就職支援</p> <p style="text-align: center;">～北海道武蔵女子短期大学～</p>	<p>本事例の中心人物</p> <p>学長</p> <p>事務局長</p>
---	---------------------------------------

事例内容

【概要】

北海道武蔵女子短期大学では、「社会人として必要な基礎能力を身につける」という教育理念の下、教養教育を重視する教育方針を立て着実に成果をあげている。建学以来、この方針は一貫しておりレベルを下げることもなかったため、一時は苦しい募集戦略を迫られることもあったが、この姿勢が高等学校や地域における企業の信頼を得ている。

【背景】

設立者が抱いた「社会の変化に適応できる知恵（知・情・意）ある女性を育む」という理想を具現化する形で北海道武蔵女子短期大学が設立された。「バブル経済」や「女子の高学歴化志向」など時代の変化に対しても方針が変わることはなかった。もちろん、四大化の検討がなかったわけではないが、トップの強い信念のもと「教養教育を重視する職業人の育成」という方針を貫いている。

【取り組み内容】

入試制度には推薦入試と一般入試があり、推薦は指定校推薦のみを行っている。人間性を重視しているため内申書票の内容が重要視されており、推薦入試で多くの学生を確保することが目標となっている。一般入試では記述式の問題を多く出題しているが、これに食らいついてくる意欲のある学生を確保したいとの意図が窺える。

入学してきた学生を育てるという信念の下、カリキュラムの見直しと授業の改革を実施。カリキュラムの見直しは、教員と職員が協働しながら学長の強いリーダーシップで前に進めた。授業改革については、年2回の授業に関する学生アンケートと成績講評授業が実施されている。成績講評授業とは、学

生の受けた定期試験の答案やレポートを採点・添削後に学生全員に返却し、試験のねらいの説明や講評を行うものである。また、この成績講評授業において学生アンケートで寄せられた質問・疑問にも答えている。

就職のサポートとしては、個人面談（ゼミナール担当教員）、模擬面接（常駐の就職相談員）など徹底した個人指導と、職業教育を通して就職後の考え方を培う（早期退職の予防）ことに重点を置いている。また、卒業時点で就職できなかった学生を登録し、企業から募集が来た時点ですぐに連絡できる体制をとるなど、卒業後のフォローにも力を入れている。

【結果】

このように教育理念に沿って実直に取り組む姿勢が、高等学校や企業から高い評価を得る結果となっている。高等学校では、「君のようなタイプ（実直で真面目）なら、北海道武蔵女子短期大学を薦めるよ」というような指導や、企業では「北海道武蔵女子短期大学の学生であれば間違いない」との声もある。信頼を勝ち得ることで、高等学校からは自然と優秀な学生が集まり短期大学自体がレベルアップし、就職もますます充実するという良い循環が生まれている。

また、口コミによる評判も高く、母娘、姉妹（中には3姉妹もいる）が同窓というケースが非常に多い。

同短期大学には目立つ特徴があるわけではないが、学生にとって何が必要であり、大切なのかを強く認識し、これからも理念に沿った教育を実施していくということであった。

成功のポイント

地域社会のニーズに合った教育目標～地域の高等学校、企業、社会の信頼の好循環

「社会人として必要な基礎能力を身につける」という地域や社会のニーズに合った教育目標を掲げ、少人数教育、きめ細かな学生サポート、教養教育の重視等を実直に継続して実践し、高等学校や地域社会・企業の信頼を得ている。

指定校制推薦入試の原則～入学までの学習サポート

教育理念に沿って正直に取り組む姿勢が、高等学校（の進路指導教員）から高い評価と信頼を得た結果、高等学校からは優秀で短期大学の教育目標・雰囲気にあった生徒の推薦を得られるようになった。

推薦入試入学予定者への学習サポートも、合格を前提に試験を実施したうえで、推薦入試時の提出作文の添削 返却、添削を基に作文を再提出、新聞記事についてのレポート提出、レポート添削 返却、指定された図書（数十冊）から1冊を選び、読書感想文の提出ゼミ担当教員からのコメント等々、入学までの学習サポートを実施し、これらが同短期大学の教育への、高等学校からの信頼を更に高めている。

教育の一環としてのきめ細かな就職支援

就職支援は教育の一環として捉え、学生の高出席率維持（就職ガイダンスや各種対策講座）、負担の軽減（全ての対策講座を受講料無料で実施）、個人指導の徹底（模擬面接・履歴書指導他）、的確な情報提供（昼休みを利用した企業説明会）等、教育効果が高まる工夫をしている。

また、職業教育を通して就職後の考え方を培うことで、学生の内定辞退の防止や早期退職の防止にも繋がり、採用後は企業での戦力になっていることの評価も含め、企業側の評

判の維持にも繋がっている。

学長のリーダーシップと役割分担の明確化

小規模校であるが、それゆえに教員と職員の役割分担を明確に分け、その上で必要な情報共有、連携作業をしっかりと行い、学校全体で受け入れた学生の教育、サポートに取り組んでいる。それらを支えているのは、学長のリーダーシップであり、事務局長との連携である。

今後の課題

地域の信頼を得ていても、18歳人口の減少、社会状況の変化等の外的要因により、優秀な学生の確保は年々困難になってきており、更なる学生支援や推薦入試制度等の検討等が課題となろう。

委員の所感

基本を押さえつつ、教育理念に沿った教育を正直に継続して積み重ねて得た地域社会との信頼

「特に目立つ特徴があるわけではないのが、特徴といえば特徴です」として、様々な取組みを説明いただいたが、どの取組みも「いかに学生を受け入れ、送り出していくか」を軸に非常によく考え抜かれており、地域社会のニーズを踏まえ教育目標に沿って基本を正直に取り組む姿勢も含め、地域社会の厚い信頼を獲得できる特徴を持っていると感じた。